

研修 評価

研修名	令和5年度新潟県災害支援ナース養成研修				
領域	災害看護 研修	会場	新潟県看護研修センター	受講料	会 員：無料
対 象	学習段階レベル（Ⅰ～Ⅲ） 募集数(49人)応募数(49人)参加数(49人)会員数(49人)非会員数(0人)				
日 時	令和 5年 11月16日（木）9：00～16：30 17日（金）9：30～15：40				
ねらい（目標）	1. 災害・感染症等に関する基礎知識技術を習得する。 2. 応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する。				
講 師	<p>講師名 羽入晋太郎 医 師 所属 新潟県福祉保健部地域医療政策課</p> <p>講師名 青柳 玲子 保健師 所属 新潟県看護協会 常務理事</p> <p>講師名 長谷川 郁 看護師 所属 新潟大学医歯学総合病院</p> <p>講師名 志田 和彬 看護師 所属 下越病院</p> <p>講師名 下鳥 由紀 看護師 所属 新潟大学医歯学総合病院</p> <p>講師名 石川 百恵 看護師 所属 済生会新潟病院</p> <p>講師名 本間 いずみ看護師 所属 新潟県立燕労災病院</p> <p>講師名 田辺 生子 保健師 所属 新潟青陵大学</p> <p>講師名 武田 惇 看護師 所属 木戸病院 感染管理認定看護師</p> <p>講師名 小柳 直子 看護師 所属 新潟市民病院 感染管理認定看護師</p> <p>講師名 武田 一洋 看護師 所属 済生会新潟病院 クリティカルケア認定看護師</p> <p>講師名 荻間 久美 看護師 所属 県立新発田病院 クリティカルケア認定看護師</p>				
内容・方法	<p>○講義内容</p> <p>【オンデマンド研修（日本看護協会 e-ラーニング配信）20時間】</p> <p>総論 120分／各論（災害）540分・（感染症）540分</p> <p>【集合研修（演習）10時間（災害・新興感染症）】</p> <p>災害看護委員会において、企画・運営・評価を実施</p> <p>11月16日</p> <p>《講義》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新潟県における災害・感染症にかかる応援派遣・医療提供体制の状況や対策」 ・「新潟県看護協会における災害・感染症にかかる応援派遣時の看護支援活動」 <p>《演習（災害）》 災害時の看護職の活動の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害支援ナースとしての心構え～受援者・支援者間に生じやすい役割期待のずれ、応援派遣の際の心構え～」 ・「活動場所の違いによる活動の特徴・医療機関・避難所での活動の特徴」 ・「CSCA(TTT)」・「方針に沿った活動」・「支援者のストレス」 <p>11月17日</p> <p>《演習（感染症）》 新型コロナなど新興感染症患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感染拡大・重症化の予防・ゾーニング」講義・実技 ・「安楽な呼吸の保持」講義・実技 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・集中治療室内での集中治療管理 グループワーク ・多職種連携による医療提供 グループワーク ・患者・家族へのケアと看取り グループワーク
結果・評価 (受講者の意見・感想)	<p>○評価方法：アンケート結果からの評価（回答数 35 回収率 約 71%）</p> <p>○自己課題の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者の全員が「理解できた」「まあまあ理解できた」と回答しており目標は達成できたと思われる。 <p>○受講者の満足度</p> <p>①災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「支援時の心構え」の説明から企画者が大事にしていることが伝わった。 ・実際の支援ナースの体験を聞くことで具体的なイメージができた。 ・「C S C A (T T T)」の講義で被災者と医療支援チーム・医療機関をつなぐ重要性・大変さがよくわかった。 <p>②新興感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内で確認をとりながら安全な支援を学べた。 ・感染対策やゾーニングでは、GW での話し合いが勉強になった。GW が有意義であった。
企画の評価	<p>○目標・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果より 目標、目的は達成できた。 ・動画教材を有効活用し、感染、他職種協働、派遣準備等実践的な内容が行えた。 <p>○プログラムの妥当性</p> <p>①災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前のオンデマンド受講後の実践的な支援活動に繋がる構成だった。 ・施設、経験年数、重症感染症受講者及び災害経験者の偏りが無いようグループ分けする必要がある。 <p>②新興感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の感染・呼吸器管理などの経験値の差に対する設定が難しい構成だった。 ・実際の派遣例を増やしたほうが良かった。施設派遣、病院間の協力体制で（県外）病院派遣の例等、実体験があつての呼吸器管理が必要となる場面状況での研修となった。 <p>○事前準備・当日の運営など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GW の時間配分の調整及びタイムスケジュール・開始時間の再検討が必要である。
課 題	<p>感染症演習企画チーム及び災害演習企画チームと分けて演習内容をプログラムしたが、2 日間の集合研修（演習）に一貫性がなかったとの反省を踏まえ、研修内容や資料のすり合わせや共有化を図る必要がある。</p>
担当者	<p>災害看護委員会</p>